

# EAST TIMES

東日本保証広報誌 2024 冬号



特集 「かたる」

# 特集「かたる」

「かたる」をキーワードに、社会資本整備に関わるさまざまな取り組みについて考えていく

## 12 特色を活かし、 ものがたる

Photo Gallery  
館の特色を活かした活動で、  
対象を「ものがたる」博物館



山梨県立リニア見学センター ときどきリニア館より 山梨県都留市

## 04 インフラをかたる

アイドルがインフラを「かたる」  
世論を変えるバラエティ番組の可能性  
巻頭インタビュー

京都大学大学院 工学研究科 教授 藤井 聡 氏



## 14 建設産業図書館 貴重書紹介 各鉄道線建設概要



## 08 若手がかたる

若手が「かたる」リアルな建設業  
約6分の動画で職場環境まで伝える

東日本建設業保証株式会社 総務部 総務課長 山川 博之  
総務部 総務課 課長代理 東 健太郎

## 16 連載「けんせつのでんせつ」シリーズ77 釜鳴り

建設産業図書館事務局 江口 知秀



鳥山石燕 「百器徒然草」 鳴釜  
(川崎市市民ミュージアム 所蔵)

## 18 トピックス 福島支店から 歴史を語るメロディー 「福島市 古関裕而記念館」

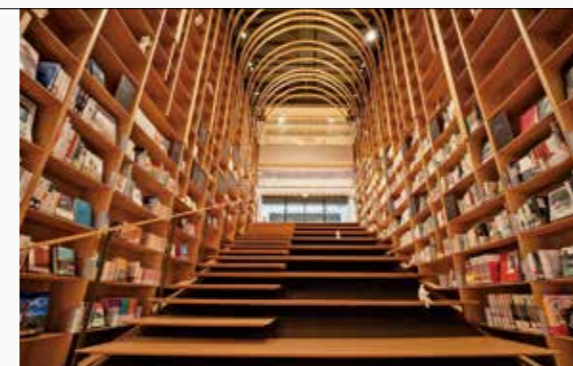


福島市 古関裕而記念館(福島県福島市 写真提供:同館)

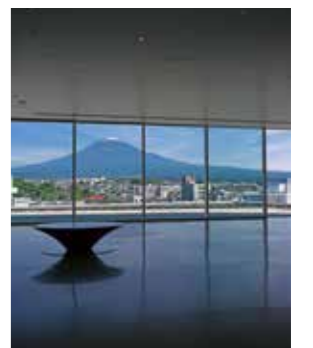
## 10 作家や作品とかたりあう

地域の話題 よりみちこの街 Vol. 27

昭和のマンガ家たちや村上春樹文学と  
「かたりあう」文学館、ミュージアム 鈴木 伸子



早稲田大学国際文学館(東京都新宿区 写真提供:同館)



表紙の写真  
静岡県富士山世界遺産センター  
(静岡県富士宮市)

2013年6月、ユネスコ世界文化遺産  
に登録された「富士山—信仰の対象と  
芸術の源泉」を後世に守り伝えていく  
ための拠点施設。展示棟最上階の展望  
ホールと屋外テラスからは、周辺の構造  
物に遮られない本物の富士山を眺める  
ことができる。

▶P12-13 Photo Gallery  
「特色を活かし、ものがたる」を  
ご覧ください。



インフラをかたる

特集「かたる」

アイドルがインフラを「かたる」  
世論を変えるバラエティ番組の可能性

京都大学大学院 工学研究科 教授

# 藤井 聡氏

巻頭インタビュー

アイドルが、インフラを語るテレビ番組がある。TOKYO MXが偶数月の第二日曜日に放送する「ももいろインフラZ」だ。出演は、女性4人組アイドル「ももいろクローバーZ」(以下、ももクロ)。インフラを学び、操る最強のインフラ戦士という設定だ。番組ではその教官を務める京都大学大学院工学研究科教授の藤井聡氏に番組誕生までの道のりや、インフラの重要性を広く一般に広めるためにはどうしたらよいかを聞いた。

――番組は、令和4年(2022)

9月と令和5年(2023)3月にまず特別番組として放送され、同年4月にレギュラー番組になりました。これまで扱ってきたテーマは、「治水」「道路」「地震」「新幹線」「港」「電力」「橋」と、多岐にわたります。毎回、インフラ戦士役の「ももクロ」のメンバーが、テーマに関連する歴史、人物、技術などを調べ、プレゼンする内容です。番組作りのきっかけは、藤井教授からテレビ局側への提案だったのですか。

藤井 そうです。インフラに対する国民の認識は、ほかの先進諸外国と比べると低い。象徴的な出来事が、「コンクリートから人へ」とい

うスローガンを、政権を握った民主党が掲げたことです。その結果、必要な水準のインフラ投資ができなくなってしまう。インフラ投資に否定的というのは、一般的、公共的、理性的、倫理的な国民であれば、あり得ないことです。この状況を、30代どころから非常に悔しいと思ってきました。世論を変えたいと考え、専門紙に連載記事を寄稿し、一般向けに新書を出版してきました。インフラを取り上げるテレビ番組の提案も、そうした活動の一つです。

**大衆社会をつくるテレビに世論を変えるため出演する**

――メディアの中でもテレビには以前から着目していた、と。

藤井 世論を変えるには、大衆社会をつくるテレビというマスメディアに登場し、制作者側にも影響を与えないと、と考えていました。テレビは「第四の権力」と言われる存在です。テレビ局とコネクションをつくるためにも、テレビには意識して出演するように努めていました。

TOKYO MXは、そうして信頼関係を築いてきたテレビ局の一つです。そんなお付き合いの中で、



藤井氏と「ももいろクローバーZ」のメンバー4人が出演する「インフラバラエティ番組」「ももいろインフラZ」(写真提供:TOKYO MX)

ひよんなことからインフラを取り上げる番組の可能性はあるでしょうかとという話題に及んだ時に、前向きに捉えてもらえることができたとという次第です。

——番組を制作するとなると、スポンサーが必要になりますね。

**藤井** はい。これはもうぜひ、建設会社に協力してもらおうと。で、かねてからお付き合いの深い五洋建設株式会社さんに、いろんな意見交換をしていた折りにこの話を差し上げたところ、それはとてもいいではないですか、と大変前向きなお返事をいただいたという次第です。ただし、この番組は業界全体に関わることで、業界全体に声を掛けたほうがいいのでは、という話にもなったことから、一般社団法人日本建設業連合会(以下、日建連)とご相談いただくことになりました。

ただこの段階では、どんな番組になるか、まだ分かりません。それでは協賛しようにもできないと

**ぼーっと見てもらえるよう  
バラエティで番組を面白く**

——公共事業の予算が削られ、適切なインフラ投資が行われないようになると、命を守るためのストックや技術力が失われていくと。しかし、難しいですよ。そういう真面目なことを広く一般に伝えていくのは。

**藤井** だから、バラエティ番組なのです。テレビ局のバラエティ担当は、視聴率を上げるため番組を面白くするにはどうすればいいか、しっかりと考えていますから。報道担当と違い、面白い番組づくりに向いています。

番組を制作する時は、定められたテーマについて取材したり資料を集めたりして台本を考えてもらいます。そこで面白い台本をつ

いうことから、まず五洋建設株式会社1社の協賛で特別番組という形で番組を1本制作することになったのです。これが、「治水」を取り上げた令和4年9月の放送です。

——それが、好評だった?

**藤井** そうですね。たくさん関係者に高く評価していただきました。それで、日建連に所属する建設会社21社に、この番組のための広報協議会を組織していただき、協賛を得るようになりました。制作側では当初、各社のテレビ用CMを流す想定でしたが、協賛側では社名は表に出なくていい、と言うのです。宣伝のための協賛ではないから、NHKのように番組の途中でCMが流れないのは、そういう理由です。

**「ももクロ」出演でメジャー感  
「YouTube」にも投稿**

——「ももクロ」を起用するというのも、ご自身の発案ですか。

**藤井** はい。以前、テレビ番組で一緒にする機会があり、そこで「現代貨幣理論」という考え方を彼女たちに番組内で「教授」ということがありました。その時の印

象が良かったので、適任ではないかと考え声を掛けさせていただきました。

何よりありがたかったのは、動画投稿サイト「YouTube」に番組をアップロードいただくことができた、という点。通常アイドルさんたちが出演した番組を「YouTube」上で正式に公開することは、難しいことが一般的ですが、難しいことが一般的だからこそ、社会に対する啓蒙が重要という点をご理解いただいた「ももクロ」さんサイドのご判断で公開いただくことができました。すごくありがたいです。

——令和5年12月時点で、特別番組2本を含む7本が放送されました。反響や手応えは、いかがですか。  
**藤井** 視聴率はいいとお聞きしています。周囲からは、とてもいい評判です。「YouTube」の再生回数は合計で31万回程度ですが、その影響力は非常に大きいと確信しています。

——そもそも適切なインフラ投資が行われない現状には、どんな問題があるとお考えですか。  
**藤井** 大きく二つあります。

一つは、フロー効果<sup>※1</sup>としての問題です。公共工事の発注が少なくなれば、建設業界は縮小せざる

を得ない。解雇や倒産の嵐となつてしまいます。このような時代が1990年代以降ずっと続きましたので、建設関係者でさえ普通に受け止めがちですが、それ以前には考えられなかったことです。

もう一つ、より重要なのは、ストック効果<sup>※2</sup>の問題です。新幹線にしてもリニアにしても、いまだに建設中です。高速道路はミッシングリンク<sup>※3</sup>がまだ残る。ストックとして十分な効果を発揮していません。治水水準も低いままで。例えば川辺川ダムが整備されていれば、令和2年(2020)7月豪雨で球磨川の氾濫はなかったのではないかと思います。

重要なストックには、技術力も挙げられます。1980〜90年代、世界的な長さを持つ長大橋や長大トンネルの多くは、日本国内で建造されました。しかしその後、公共工事の発注が少なくなるのに伴い、長大プロジェクトがなくなつてしまいました。技術力を発揮する場がなくなつてしまつては、その技術力を伸ばしようがないと考えます。

くるには、担当者自身にまず、「面白い」と思ってもらわないといけません。そのうえで、「これ、ええな」とか「この言い回し、こうしてんか」とか言いながら、面白くなるように台本をつくり込んでいきます。

何より重要なのは、ぼーっと見てもらうことです。インフラに興味のない人にも見てもらうには、それが最も大事なことです。番組で取り上げている内容には興味ないけれど、「ももクロ」が出ているから見る——。それで、いいです。そうやって見ていけば、自然にインフラの話が入ってくる。

インフラに興味のない人にも重要性が伝わる。そこに、この番組の価値があるのです。



(提供:TOKYO MX)

**ももいろインフラ-Z**  
放送日時:TOKYO MX 偶数月の第1日曜11:00-11:55 レギュラー放送  
出演:藤井 聡(京都大学大学院 工学研究科 教授)  
ももいろクローバー-Z (百田夏菜子、玉井詩織、佐々木彩夏、高城れに)

過去の放送は番組ホームページで閲覧できます  
[https://s.mx.tv.jp/variety/momoiro\\_infra\\_z/](https://s.mx.tv.jp/variety/momoiro_infra_z/)



●ももいろインフラ-Z 広報協議会 協議会会員一覧

株式会社安藤・間	清水建設株式会社	東洋建設株式会社
株式会社大林組	株式会社銭高組	戸田建設株式会社
株式会社奥村組	大成建設株式会社	飛鳥建設株式会社
鹿島建設株式会社	株式会社竹中土木	西松建設株式会社
株式会社熊谷組	鉄建建設株式会社	株式会社フジタ
株式会社鴻池組	東亜建設工業株式会社	前田建設工業株式会社
五洋建設株式会社	東急建設株式会社	三井住友建設株式会社

※1 フロー効果: 公共投資の事業自体により雇用等の経済活動が創出され、短期的に経済全体を拡大させる効果  
※2 ストック効果: インフラが社会資本として整備され、機能することで継続的に中長期的にわたり得られる効果  
※3 ミッシングリンク: 道路網における未整備区間で、途中で途切れている区間



藤井 聡(ふじい さとし)

【現職】  
京都大学大学院 工学研究科 教授

【略歴】  
1968年大阪府生まれ。1991年京都大学工学部土木工学科卒業。1998年スウェーデン・イェテボリ大学心理学科、認知・動機・社会心理学研究室 客員研究員、2006年東京工業大学大学院理工学研究科(土木工学専攻)教授を経て、2009年京都大学大学院工学研究科教授(現職)。2012年から2018年まで内閣官房参与を務める。

【研究分野・キーワード】  
国土計画・土木計画、経済・財政・金融政策論、交通計画、意思決定研究、リスク心理学、生活・交通行動分析、他

【専門分野】  
国土計画・経済政策等の公共政策論

【所属学会等】  
土木学会(計画学研究委員会)、日本心理学会、日本社会心理学会、応用哲学会、行動計量学会、交通工学研究会、日本社会科教育学会、都市計画学会、認知的統計的意思決定研究会、日本災害情報学会、International Association of Applied Psychology (IAAP: 国際応用心理学会)、European Association for Decision Making (EADM: 欧州意思決定研究会)。

【主な著書および番組出演等】  
著書「『ゼロコロナという病』藤井聡 / 木村盛世 産経新聞出版 2021年」「『こうすれば絶対良くなる日本経済』田原総一郎 / 藤井聡 / 若林杏樹 アスコム 2021年」「『大衆社会の処方箋』藤井聡 / 羽鳥剛史 北樹出版 2014年」「『列島強靱化論』藤井聡 文藝春秋 2011年」等多数。TOKYO MX「東京ホンマもん教室」、朝日放送「正義のミカタ」、関西テレビ「報道ランナー」、KBS京都「藤井聡のあるがまらラジオ」等のレギュラー解説者。2018年より表現者クライテリア編集長。



若手が「かたる」リアルな建設業  
約6分の動画で職場環境まで伝える

これらの動画コンテンツ、伝えたいことは共通するが、構成やシナリオは公開中の全6本すべて異なる。登場人物の受け答えを自然体で分かりやすくするため、丹念な取材に基づいて制作した。

内容をつかむには、実際に動画をご覧いただくのが一番だが、誌面上では文字で伝えるしかない。まずは第1話と第2話に絞って、そのあらましを簡単に紹介しよう。

第1話のテーマは「わたしの仕事」。栃木県宇都宮市内の建設会社で建築工事の施工管理を担当する女性技術者が主人公だ。ある日の1日に密着し、仕事の幅広さを伝える。ユニークなのは、インタビューの質問。服装の自由度やネイルの可否まで聞く。現場ではドローンやタブレット端末も登場し、最新技術を活用していることも分かる。

建設業界のイメージアップを図り、入職を促すにはどうすればよいか。東日本建設業保証株式会社（以下、弊社）は創立70周年記念事業の一環として、その課題に正面から向き合い、1本あたり約6

分の動画コンテンツを制作した。動画投稿サイト「YouTube」に公式チャンネルを立ち上げ全6本を公開している。どのような作品に仕上がったのか――。企画・制作を担当した弊社社員に話を聞いた。

水害の再発を防ぐのは、「僕らにしかできない」

第2話は石川県小松市内の建設会社で土木工事の施工管理を担当する男性技術者2

人が主人公。入社年次が3年異なる先輩・後輩の間柄だ。先輩は後輩のメンター<sup>※</sup>として、その成長を支える。

テーマは「わたしが守る」。海岸整備や河川整備などの土木工事が地域を災害から守っている、という側面にスポットを当てる。水害の再発を防ぐのは、「僕らにしかできない」という主人公2人の上司が放つ言葉が、誇りを感じさせる。

登場人物が放つ言葉の重みは、この動画コンテンツに共通する魅力の一つだ。第2話の後輩は仕事への覚悟を問われ、「建設業は、やっぱりなくてはならない仕事。楽しみながら、しっかりと取り組んでいきたい」と、思いを語る。この場面からは建設業界の将来性を改めて感じる。

動画ならではの魅力は、撮影班のカメラが話者の細やかな表情を捉え、ぐっと来る場面では目につすら浮かぶ涙を見逃さないところだ。職場ではさまざまな役割を担う社員の素の表情を捉え、自然な笑顔には職場環境の和やかさを映し出す。

動画コンテンツは弊社への使用許諾は不要。建設業の紹介映像として、会社説明会やハ



弊社では、来訪者の皆さまに動画をご覧いただけるよう、本社1階エントランスにモニターを設置しています

ローワークなどで利用していただいている例がある。令和5年（2023）12月時点で再生回数は2万9000回を超える。

令和4年（2022）10月に第1話を公開して以降、建設業界内での評判は上々という。企画・制作を担当した総務部総務課の東健太郎課長代理は、「色々な業種・地域の映像をワンセットで見ただけなのは、日頃から多くの建設企業とお付き合いをさせていただいている弊社ならではの。『コンテンツの制作を、今後もぜひ継続して欲しい』という声が聞かれます」と、その好評ぶりを明かす。

建設業界のイメージアップと入職促進を狙い、ターゲットに据えたのは、これからの社会を担う中高生だ。業界へのイメージや疑問点を生の声として把握しようと、東京都内の工業高校にヒアリングに向かった。

「建設業界は安定しているのか、職場環境は厳しくないか、と不安を抱えていることがわかりました。不安に比べられるように、飾り気のないリアルな映像を心掛けました」と、東課長代理は制作上の留意点を語る。映像制作会社側のアドバイスで、動画の時間は短めに抑え、ナレーターには中高生に人気の声優を起用した。

全6本のテーマは企画・制作担当者側で用意し、各テーマを語るにふさわしい取材先は業界団体の協力を得て探し当てた。「最初はシナリオなしで取材に向き、イメージアップや入職促進への各社の取り組みを聞きながら、主人公として登場する若手社員を紹介してもらいます。シナリオを作るのは、その話を聞いてからです」（東課長代理）。1話分を制作するの

に必要な期間は、およそ2〜3カ月だ。

企画・制作担当者として意識したのは、「伝わる」という点だ。総務部総務課の山川博之課長は「一般の方でも分かるように、専門的にならないように注意しました」と振り返る。登場人物の受け答えが自然体で分かりやすいのも、心掛けた成果。硬すぎる話し方にならないように、撮影班とまず打ち解けてから、本番の撮影に臨むように配慮している。

動画コンテンツ全6本を完成させた現在、そのターゲットである中高生に向け、改めて何を伝えたいか。

山川課長は建設業界へのイメージ刷新の必要性を挙げる。「各社の取り組みや技術の進捗で仕事の仕方は一昔前と異なります。そこを、中高生はもとより、保護者にも理解してほしいですね」。かたや東課長代理が挙げるのは、建設業という仕事の重要性である。「地域住民にとって、なくてはならない仕事。成果が形として残る、やりがいのある仕事です。そのことを、もっと知ってほしいですね」。この2人の思いは、一連の動画にも実によく表れている。



ひがし けんたろう  
東 健太郎  
総務部 総務課 課長代理



やまかわ ひろゆき  
山川 博之  
総務部 総務課長

YouTube  
東日本建設業保証公式チャンネル

チャンネル登録  
お願いします!!

弊社ウェブサイト  
からもアクセス  
できます

※ メンター：指導者や助言者、相談者などを意味する言葉で、主に新入社員や若手社員、中途社員などとの対話や相談、助言を通じて対象者をサポートする者を指す

# 昭和のマンガ家たちや村上春樹文学と 「かたりあう」文学館、ミュージアム

近年、作家や物語の世界観に親しむことのできる文学館やミュージアムに、新たな切り口のもの次々に誕生している。取り壊されてしまった古アパートを再現した建物あり、大学校舎のリノベーションありと、その建物もバラエティと意外性に満ちている。今回はそんな施設を訪ね、その作家や作品が物語る世界に向き合ってみよう。

んだことが契機となり、藤子不二雄（藤子・F・不二雄、藤子不二雄）(A)、石ノ森章太郎、赤塚不二夫などの若手マンガ家たちが次々に入居。お互い切磋琢磨、協力しながらの制作の日々を送った。

トキワ荘は、昭和57年（1982）に解体されたが、マンガ界の梁山泊とも言えるアパートの存在は、藤子不二雄(A)『まんが道』などの作品、そのテレビドラマや映画化によって広く知られるよ

## 日本マンガの聖地・トキワ荘 そのままのミュージアム

令和2年（2020）7月にオープンしたのは、豊島区立の「トキワ荘マンガミュージアム」。椎名町、現在の南長崎にあった昭和27年（1952）築の木造2階建のアパート・トキワ荘は、手塚治虫が住



廊下を挟んで4畳半の部屋が並ぶ2階は常設展示室になっている



石ノ森章太郎のアシスタントとして入居していたマンガ家、山内ジョージの部屋



当時の生活感も含めて再現した共同炊事場



トキワ荘マンガミュージアム（東京都豊島区）

（写真提供：©トキワ荘マンガミュージアム）

うになっていった。

その後、日本のマンガ・アニメ文化が世界的な影響力を持つに至り、この地を訪ねてくるマンガ・アニメファンが増加。トキワ荘を記念する施設づくりが画策され、20年以上の運動、構想を経てミュージアムの建設が決定。トキワ荘跡地は路地奥の狭小地だったため、近くの区立公園内に建てられた。

建物の外観と内部の再現を担当したのは、展示施設や商業施設などの空間作りを手がける大手の株式会社丹青社。資料や聞き取り調査などをもとに設計図を作成。各部屋は、マンガ家たちが住

んでいた当時のままの生活感にあふれ、汲み取り式トイレや階段を上る時に軋む音までもが忠実に再現されている。

## 村上春樹の作品世界を 五感で味わうライブラリー

早稲田大学の早稲田キャンパス内に令和3年（2021）10月に開館したのは「早稲田大学国際文学館（村上春樹ライブラリー）」。早大の卒業生である村上春樹の作品や世界各国の文学の研究拠点であると同時に、村上作品の世界を著作、音楽やさまざまなイベ

ントなどで味わうことができる施設だ。

昭和44年（1969）築の政治経済学部の別棟だった建物を隈研吾の設計によりリノベーション。高低差のある敷地に建つ建物内に大きな穴を開け、地階から2階までの三層に、村上作品にもよく登場する異なる時空を繋ぐトンネルを貫通させた。

館内には、国内ばかりでなく世界各国で刊行された村上春樹全著作の並ぶライブラリー、オーディオルーム、企画展スペース、カフェなどが設置されている。外壁は白く塗装され、流線形の

トンネルが建物の動線を繋ぎ、学問の場であった校舎はコンテンツポラーリーな作家の活動を体感できる場として躍動感のある表情を見せている。

館内では、カフェで寛ぐ人、オーディオルームで村上春樹寄贈のジャズのレコードに聴き入る人、ライブラリーで読書する人などが思い思いにその作品世界を楽しんでいる。

（文：鈴木伸子）

すずきのぶこ 東京生まれ。東京女子大学卒業後、雑誌『東京人』編集部勤務。1999年より副編集長。2010年退社後、都市、建築、鉄道、まち歩きなどをテーマに執筆活動を行う。



早稲田大学国際文学館（東京都新宿区）



「村上作品とその結び目」と「現在から未来に繋ぎたい世界文学作品」という企画で本が並べられている階段本棚



オーディオルーム

（写真提供：早稲田大学国際文学館）

### Museum Information

#### トキワ荘マンガミュージアム

所在地：東京都豊島区南長崎3-9-22

開館時間：10:00-18:00（入館は17:30まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始、展示替え期間

入館料：特別企画展期間中は全館有料

#### 早稲田大学国際文学館

所在地：東京都新宿区西早稲田1-6-1

開館時間：10:00-17:00

休館日：水曜日 ※ウェブサイトでご確認ください

入館料：無料



# 館の特色を活かした活動で、 対象を「ものがたる」博物館

令和3年度文部科学省社会教育調査中間報告によると、日本には5700以上の博物館があるとされている。対象とする資料や分野で見ると、歴史博物館、美術博物館、科学博物館、動物園、植物園など種類はさまざま。これほど多様な博物館がたくさんある国は世界でも珍しいのだと思う。今号では、館の特色を活かした活動で人々に知的刺激と楽しみを提供し、対象を「ものがたる」博物館を紹介する。

まずは、山梨県都留市の山梨県立リニア見学センター。日本で唯一の時速500kmで走行する超電導リニアを間近で見ることが出来る博物館型見学施設だ。平成15年(2003)に世界最高速度(当時)を記録した試験車両の实物展示をはじめ、模型やジオラマ、疑似体験できるミニリニアなど、さまざまな展示物が楽しめる。

続いては、静岡県富士宮市にある静岡県富士山世界遺産センター。世界遺産となった富士山を後世に継承し、守っていくための拠点施設として開館した。木格子で覆われた逆円すい形のフォルムが特徴の展示棟は、その内側がらせんスロープになっていて、壁面に投影される富士山の風景を楽しみながら富士登山を疑似体験できる。

この他にも、全国には多彩なジャンルの博物館がある。是非、足を運んでみてほしい。



1. 山梨県立リニア見学センター(1997年開館 山梨県都留市)
2. 静岡県富士山世界遺産センター(2017年開館 静岡県富士宮市)
3. 遠野の語り部による昔話を楽しめる「とおの物語の館」。劇場空間の「遠野座」は、かつての地元造り酒屋の蔵を利用したスペース。(2013年リニューアルオープン 岩手県遠野市 写真提供:認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク)
4. 物部長穂記念館は、日本の水理学・土木耐震学の最高権威者であった物部長穂博士の貴重な資料を展示。ダム工事に大きな功績を残した博士の生涯や業績を楽しみながら体験できる。通年12月1日から3月31日まで休館。(1994年開館 秋田県大仙市 写真提供:大仙市)
5. 城山公園山頂にある三層四階天守閣形式の館山城(八犬伝博物館)では、「南総里見八犬伝」の版本や八犬伝の登場人物や名場面を描いた錦絵などの各種資料を展示している。(1982年開館 千葉県館山市 写真提供:城山公園管理事務所)
6. 近現代建築の図面や模型の劣化、散逸、海外への流出等を防ぐことを目的として、緊急保護が必要な資料の収集・保管を行う文化庁国立近現代建築資料館。(2013年開館 東京都文京区 写真提供:同館)
7. 戦国の城下町・特別史跡一乗谷にある福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館。朝倉当主の館の一部を原寸で再現し、戦国大名の暮らしを体感できる。(2022年開館 福井県福井市 写真提供:同館)
8. 大阪市立住まいのミュージアム 大阪くらしの今昔館は、大阪のまち・住まいの歴史と文化をテーマにした博物館。江戸・明治・大正・昭和の大阪のまち・住まいと暮らしを大規模なミニチュア模型、映像などで再現している。(2001年開館 大阪府大阪市 写真提供:同館)

2	2	1
7	5 3	
8	6 4	

## Photo Gallery

●表1 当館所蔵 各線建設概要

書名	発行	出版年
中央線鐵道建設概要	鐵道院名古屋建設事務所	1911年
下富良野線建設概要	鐵道院北海道建設事務所	1913年
名寄線建設概要	鐵道省北海道建設事務所	1921年
増毛線建設概要	鐵道省北海道建設事務所	1921年
横黒線建設概要	鐵道省	1924年
羽越線建設概要	鐵道省	1924年
益田線鐵道建設概要	鐵道省米子建設事務所	1924年
山手線複々線工事概要	鐵道省	1925年
長輪線建設概要	鐵道省北海道建設事務所	1928年
久慈線建設概要	鐵道省	1930年
上越線建設概要	鐵道省	1931年
國都線建設概要	鐵道省	1932年
峰豊線建設概要	鐵道省	1932年
御茶ノ水兩國間高架線建設概要	鐵道省	1932年
松岸線建設概要	鐵道省	1933年
熱海線建設概要	鐵道省熱海建設事務所	1934年
三信鐵道建設概要	三信鐵道株式会社	1937年

写真3 工区別表「羽越線建設概要」より

# 建設産業図書館 貴重書紹介 各鐵道線建設概要



明治5年（1872）に建設された日本初の新橋・横浜間鐵道を皮切りに、全国各地で鐵道建設工事が始まりました。これによって、巨大かつ持続的な建設市場が誕生し、近代建設企業の萌芽を促す土壌となったのです。しかし、当時の鐵道工事に関与した請負業者たちに関する資料は非常に限られており、その全容を解明することは困難です。

そのような状況ながらも、明治末期から昭和戦前期にかけて刊行された『○○線建設概要』という小冊子が、多くの手がかりを与えてくれる有益な資料となりますのでご紹介させていただきます。

これらは、おおよそ現在のA5版ぐらいのサイズで、多くは40ページほど。おおよそ明治25年（1892）に公布された鐵道敷設法（以後の改正法等も含む）で建設が定められた各鐵道線について、鐵道院（後の鐵道省）などが発行したものと考えています。

内容は、まず工区内の橋梁や隧道、駅付近などの写真（写真1参照）が口絵代わりに付いています。そして各鐵道路線平面図（写真2参照）を広げるとA3以上のサイズになるものもある、高低図などが折り込みで挿入され、本文では「建設工事総説」「線路の

選定とその地勢」「工事の概況」、橋梁や隧道をはじめとする工区ごとの明細表などで構成されています。

各線工事に関わった請負業者を知る上でとても有効なのが、写真3に示す工区別表（「羽越線建設概要」のもの）で、工区ごとに着手・竣工年月日、請負金額、契約当初の請負金額、請負人氏名などが記載されているのです。また請負者負担材料表のように付加情報が記されている場合もあり、明治末期から昭和戦前期の鐵道請負工事の実態を知る上で非常に貴重な資料となります。

ただし、巻頭の緒言には「編纂当時未タ工事ノ完成ニ至ラサルモノアリシヲ持テ書中掲記スル数字ノ如キハ後日精算ノ結果多少ノ相違ヲ来スヲ免レサルヘシ」と各冊子とも判で押したように書かれており、データは精密性に欠けるようですが、それを踏まえても貴重な資料であることは間違いありません。

この『○○線建設概要』は、国立国会図書館所蔵の『鐵道建設概要目録』（下田英郎、1975）によると127冊刊行されていたことがわかります。当館では表1の17路線分しか所蔵していません

日本で唯一の建設専門図書館

## 建設産業図書館 利用案内

〒104-0045 東京都中央区築地5-5-12 浜離宮建設プラザ1階  
 電話：(03)3545-5129 FAX：(03)3545-5141  
 開館時間：9:30～16:30  
 休館日：土・日曜日、祝日、年末年始、特別整理期間  
 利用料金：無料

- 主な収蔵分野：建設産業史、社史・団体史・伝記、建設統計、建設業経営、建設関連法規、建設関連文学
- 特設文庫：古川修文庫、菊岡俱也文庫
- 館内施設：閲覧席22席、AV視聴コーナー2席、検索コーナー2席
- 貸出：2週間以内5点まで。宅配による貸出・返却も可

<https://www.ejcs.co.jp/library/>

蔵書検索可



写真2 三信鐵道路線図「三信鐵道建設概要」より



写真1 小仏トンネルと笹子トンネル「中央線鐵道建設概要」より

が、今後も継続して収集してまいりますので、皆さまにご活用いただけますと幸いです。





# 釜鳴り

## はじめに

今から約100年前の大正12年(1923)9月1日。東京を中心に10万5千人もの犠牲者を出した大地震が起きました。後に関東大震災と呼ばれたこの大災害は、お昼時だったことから火災により被害が大きくなりました。もし、予知できていたら人々は火気を使用せず、被害を最小限に食い止めていたかもしれません。

それから100年経った現在でも地震予知は実現してはいませんが、関東大震災からさらに約70年前の安政2年(1855)10月2日に、同じく江戸を襲った直下型地震「安政江戸地震」の際には、自宅で起こった「釜鳴り」によって地震を察知した人物がいたといわれています。

## 『大預言者の秘密』の話

昭和54年(1979)に刊行された高木彬光氏の『大預言者の秘密 聖皇高島嘉右衛門の生涯』には、次のようにあります。(高島嘉右衛門については、この連載の2020冬号にて紹介しており、当館のホームページからご覧いただけます)

よいことがあるときまったようにビョウビョウと大きな音を立てた。いわゆる釜鳴りである。この釜鳴りは、福田家の人たちの話によると、彼(福田元総理)に関してだけでも、東大入学生、高文合格、大蔵省入生、英仏駐留、南京政府顧問、官房長、銀行、主計両局長就任のときも鳴りつけ、かなり離れた近所まで聞こえたという。」

## 吉備津の釜

しかし、実際に釜が鳴ることなどあるのでしょうか。ここで、思い起こすのが、岡山市にある吉備津神社で現在も行われている鳴釜神事です。神社のホームページにより「釜に水をはり湯を沸かし釜の上にはセイロがせてあり常にそのセイロからは湯気があがっています。(中略)セイロの中で器にいたれた玄米を振ります。そうすると鬼の唸るような音が鳴り響き、祝詞奏上し終わるころには音が止むとあります。」

## 釜が鳴る仕組み

四天王寺大学准教授檀上慎二氏は、過去にNHK番組「やってみよう何でも実験」の依頼によって、この現象を説明しています。

それによると、釜が鳴る原理は「熱音響自励振動」という物理現象で、ある状況下で管状の容器を熱すると温度分布と圧力分布が生まれ、容器内の空気が熱機関として働き、振動が励起されて大きな音が鳴る...と詳しくは述べませんが、つまり、釜の上に筒状のセイロをのせ、そこに米などを入れ、火にかけることが釜を鳴らすための条件となります。

それは安政2年9月末のことでした。

「ずいぶんなまずがおかずに出るな。昨日もなまず、今日もなまず、この十日ほどなまずが続いた」

夕食の食膳にむかつて嘉兵衛(嘉右衛門の旧名)は眉をひそめた。

「魚屋さんの話では、江戸付近では手づかみにしたいほどとれる。この調子では犬でさえ食わなくなるのではないかといいことぞございます」

嘉兵衛はとたんに箸をとめ、無限の彼方を見つめるような表情となった。

「なまずのことなのだが、大きな地震の発生前には、大地そのものに人間にはわからぬかすかな動きがあるのかもしれない。それを感じて動き出す。こう考えれば、たしかに理屈はわかるのだが、何としてもふしぎな話だな」

「ふしぎといえば、この家でもふしぎなことがあったのでございます」

「今日のお昼ごろでございましたが、お台所の釜が自然に鳴り出しました。何も入れてはおりませんし、火にもかけてはおりませんでしたのに...ふしぎな音



吉備津神社 (岡山県岡山市 2018年撮影)



鳴釜神事が執り行われる吉備津神社の御釜殿 (2018年撮影)

## 共通項は「赤飯」

しかし、福田家の釜はわかりませんが、高島家では一切火にかけていないと書かれていました。もしかすると「高島翁言行録」の記述には、誤りがあるのではないかと。そこで、『高島翁言行録』以前に書かれた高島嘉右衛門の伝記を調べてみました。

嘉右衛門の伝記は、彼が40代後半の明治13年(1880)には出版されてお

を発しまして、半刻ばかり鳴り続けました。」

「うむ、釜鳴りか」

古来、「釜鳴り」は吉凶を問わず、変事が起こる前触れだと考えられていたため、嘉右衛門は得意の易を試みしました。すると、「火」の形が現れたので、近いうちに大地震が起こり、江戸が大火になるのでは、と察して大勝負に出ます。それは、大火後の高騰を見越し、木材をできる限り買い占めてしまおうというものでした。果たして嘉右衛門の予感は的中し、大金を手にしたのです。



壮年の高島嘉右衛門 (出典:「吞象 高嶋嘉右衛門翁傳」)

## 『高島翁言行録』の話

この話の典拠となったのは、明治41年(1908)に出版された聞き書き『高島』り、当時は釜鳴りなどの具体的なことは書かれておらず、ただ「豫め其兆を察し」とだけありました。

ところが、明治26年(1893)に博交館から出版された『東洋実業家詳伝 第2編』では、同じ場面でも「高島翁言行録」とは異なる釜鳴り現象が書かれていたのです。

それによると、「安政二乙卯年九月十五日家例(毎月朔日、十五日、二十八日に小豆飯を焚くを例とす)に依り小豆飯を焚きしに釜忽焉として鳴を生じ暫くして止まず...」とあり、9月15日に高島家定例の赤飯が焚かれ、その際に釜が鳴つたと具体的に書かれています。おそらく、釜鳴りのエピソードに限ってはこちらが真実に近いのでしょう。

赤飯といえば、福田家の釜鳴りは慶事に鳴るとされてきました。福田家でも高島家同様に釜鳴りは、大学の合格などの際、赤飯を焚いた折に「熱音響自励振動」が起きて釜が鳴つたのでないでしょうか。まあ、これは完全に推測ですが、ありえない話ではないと考えています。

## 記述の変遷

高島嘉右衛門の釜鳴りの話について、伝記からその変遷をたどってみました。かなり大胆に変化していることがわかりました。明治26年の『東洋実業家詳伝 第2編』では、おそらくは本人からの聞き取りどおりに書かれたのでしょう。

明治41年の『高島翁言行録』になると、火もないところで釜が鳴るといふ、より不思議な話になっています。おそらく、その頃には、嘉右衛門は易の大家として名が知られていたため、このような話に改

翁言行録』などで、次のように書かれています。

安政2年9月末頃のある日、嘉右衛門が帰宅すると往來の掃除をしていた弟の徳右衛門が、「今日我家に不思議の事あり」と話した。

「我家の釜不思議にも釜の下に一片の火を存せざるもの烈しく鳴動し近隣にも聞へて人々の怪む程なり」  
そうして先の話と同じく易で占うことになるのです。

## 元総理の家の釜鳴り

ここでもう一人、釜鳴りのエピソードを持つ人物をご紹介しましょう。第67代内閣総理大臣を務めた福田越夫氏の伝記小説『小説福田越夫』には、第一高等学校(現在の東大教養学部などの前身)に合格したときのことか記されています。それは合格発表の日のことでした。

福田元総理の「両親や兄弟姉妹たちも、合格の電報を受ける前に、合格したかもしれない」と事前に察していたという。当時、福田家の台所のカマ(釜)が、なにか

められたのではないのでしょうか。そして、高木彬光氏の小説『大預言者の秘密』では、なまずのエピソードも加えられ、嘉右衛門が大地震を察知した理由を読者にわかりやすいように仕立てられているのです。

## おわりに

しかし、いままで述べてきたことを覆すようですが、「熱音響自励振動」ではない釜鳴り現象も報告されているので最後にご紹介しましょう。滋賀民俗学会の機関誌『民俗文化』第589号に掲載された長谷川博美氏の投稿「妖怪釜鳴り」は、昭和44年(1969)、長谷川氏が12歳の頃に自宅で起こった釜鳴り現象の報告です。

「まず家族が外出した静かな居間にいた筆者は、小さな共鳴音が『シーン』と聞こえるので、耳鳴りかと思つたが、共鳴音はさらに高まり『ウーン』とさらに高く響いた、炊事場のガス釜の方から聞こえてきたので、ガス管から漏れているものと思ひ、ガス栓を確認に炊事場に向ひ、ガス釜に近づくと共鳴音は静かに停止した」と当時の様子が詳細に書かれています。

また、ガス釜は一切加熱をしておらず、薄いホーロー製で、内釜から約5mm空間がある二重構造をもち、外釜は共鳴の条件となる真円(真球?)に近く、これは共鳴現象だと思つたと述べられています。長谷川氏の釜は、二重構造のガス釜であり、高島家の釜とは条件が違うのですが、加熱をせずに「釜鳴り」が起こることもあるようだ、と一応触れておきたいと思ひます。

(文:江口知秀)



鳥山石燕 『百器徒然草』 鳴釜 (川崎市市民ミュージアム 所蔵)



# 福島支店から

## 歴史を物語るメロディー 「福島市 古関裕而記念館」

皆さんは古関裕而(こせきゆうじ)という方をご存じでしょうか？ 福島出身の方やNHK朝の連続テレビ小説「エール」(2020年放送)をご覧になった方は、この名前にピンとくるとおもいます。

古関(明治42年(1909)生)は、福島市出身の昭和を代表する作曲家です。子どもの頃から作曲に親しみ、福島県立福島商業学校(現・福島県立福島商業高等学校)に入学。卒業後、川俣銀行(現・東邦銀行川俣支店)に勤務する傍ら作曲の勉強を続け、昭和5年(1930)には、現在の日本コロムビア株式会社に専属作曲家として入社しました。以降、平成元年(1989)に80歳でその生涯を閉じるまで、5000曲にも及ぶ作品を残しています。

数ある名曲の中でも、阪神タイガースの球団歌「六甲おろし」や夏の高校野球(甲子園)の大会歌「栄冠は君に輝く」、昭和39年(1964)

に開催された東京オリンピックの行進曲「オリンピック・マーチ」は、だれもが一度は耳にしたことがあると思います。国民に愛される、これらの作品をはじめ、ラジオオドラマ、歌謡曲、校歌などを世に送り出した一連の功績により、昭和44年(1969)には紫綬褒章を受章しました。また昭和54年(1979)には、福島市名誉市民第一号として推戴されています。

こうした古関の業績を称えようと、古関メロディー」を後世に広く継承し、音楽文化の振興に資するため、福島市は市制80周年記念事業として、昭和63年(1988)11月に「福島市 古関裕而記念館」

を開催された東京オリンピックの行進曲「オリンピック・マーチ」は、だれもが一度は耳にしたことがあると思います。国民に愛される、これらの作品をはじめ、ラジオオドラマ、歌謡曲、校歌などを世に送り出した一連の功績により、昭和44年(1969)には紫綬褒章を受章しました。また昭和54年(1979)には、福島市名誉市民第一号として推戴されています。



古関裕而(1909-1989)

を市内に開設しました。今回は、古関の歴史が詰まった、この記念館を紹介します。まず外観では、名曲の一つ「とん

がり帽子」(ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌)を連想させる塔の造りが目を引きます。1階には記念品販売スペースや



福島市 古関裕而記念館(福島県福島市)

視聴覚ブースを備えたサロンがあります。ここではイベントやコンサートが定期的に開催されるなど、多目的スペースとして利用されています。視聴覚ブースでは、100曲もの「古関メロディー」を検索して聴くことができるほか、古関の足跡をたどる映像を見ることが出来ます。

2階は資料展示が中心です。中でも「古関裕而 サウンド・トリップ」という「古関メロディー」の代表的な楽曲を体感できるコーナーが目玉となっています。天井・壁・床に設置された28台ものスピーカーから流れる立体音響に、古関が描いた絵や楽譜をアニメーション化した映像が加わり、まるで自分が「古関メ



代表的な楽曲を、シャワーを浴びるように体感できる「古関裕而 サウンド・トリップ」



作曲する際に使っていた書斎を再現した部屋

(写真提供:福島市 古関裕而記念館)

ロディー」の世界に飛び込んだかのような感覚を覚えます。また書斎を再現したコーナーでは、作曲する際に使用した3つの座卓が並べられており、実際に使われた眼鏡やペンケースが置かれています。この場所

で耳を澄ますと、ページをめくったり筆を走らせたりする音が聞こえてきます。このちょっとした仕掛けにはビックリするでしょう。このほかに

仲間の写真や展示した「ファミリーウォール」や、ふるさと等の風景を描いたスケッチの展示「風景の調べ」ギャラリー」など、開放感あふれるスペースに約600点もの貴重な資料が展示されています。この記念館で歴史を物語る「古関メロディー」を体感し、自分自身の心にエールを送ってみるのもいいかもしれません。

### 福島支店

〒960-8061  
福島県福島市五月町4番25号 福島県建設センター4F  
TEL. (024) 523-2356 FAX. (0120) 027-256

## 編集後記

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

2024冬号、テーマは「かたる」です。「語る」は、ある事柄や考えを順序立てて相手に伝えることで、相手に理解してもらおうとする表現手段だそうです。音声による口頭表現「話す」よりも「伝えたい」という思いが感じられる素敵な言葉だと思い、今号のテーマに選びました。

さて、ルポのコーナーでは、弊社が建設業界のイメージアップと入職促進を目的に制作した映像コンテンツについて紹介させていただきます。

取材に協力して下さった建設企業の皆さまはもとより、ヒアリングに協力して下さった工業高校の先生・生徒の皆さまをはじめ、取材先建設企業を紹介して下さった業界団体の皆さま、制作にご協力いただいたすべての皆さまに改めて感謝申し上げます。おかげさまで、建築工事の施工管理、土木工事の施工管理、除雪作業、高速道路のトンネル工事、橋の補修工事、防波堤建設工事といったさまざまな仕事に携わる若手技術者・技能者に、仕事へのアツイ思いを語っていただくことができました。このアツイ思いが中高生に伝わり、建設業に入職する若者が出てきてくれることを切に願っています。

### 特集一覧

2012年	2013年	2014年	2015年
冬: ともす	冬: あつまる	冬: よみがえる	冬: へらす
春: まもる	春: うごかす	春: のばす	春: もてなす
夏: まもる2	夏: そだてる	夏: はかる	夏: さかせる
秋: 60周年	秋: おさめる	秋: たくわえる	秋: こわす
2016年	2017年	2018年	2019年
冬: くみあわす	冬: しる	冬: つかう	冬: あたたまる
春: ささえる	春: やすむ	春: かえる	春: かんがえる
夏: つなぐ	夏: いかす	夏: ふせぐ	夏: めざす
秋: たのしむ	秋: あゆむ	秋: つたえる	秋: みせる
2020年	2021年	2022年	2023年
冬: とりくむ	冬: ひきつける	冬: かさねる	冬: はたす
春: つなぐ2	春: つたえる2	春: むきあう	春: つくる
夏: たかめる	夏: ふかめる	夏: みなおす	夏: きづく
秋: みちびく	秋: ととのえる	秋: えがく	秋: めぐる

## EAST TIMES

禁転載

東日本建設業保証株式会社  
https://www.ejcs.co.jp

事業内容: 公共工事の前払金保証、中間前払金保証、契約保証、契約保証予約

公表資料: 公共工事の動向、建設業景況調査、建設業の財務統計指標

公開施設: 建設産業図書館  
https://www.ejcs.co.jp/library/

※本誌の掲載文のうち、意見を述べた部分については、執筆者の個人的見解であることをお断りします。

※誌面に関するご意見・ご要望などお待ちしております。

建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

